



【揺るがない人生の家を建てる賢い建築家】

聖書:マタイの福音書7章24-29節/ヤコブの手紙1章22・24節

説教者: 鄭南哲牧師

(Rev. Jung Nam-Chul)

愛する信仰の家族のみなさん！一週間もみんなお元気でしたか。愛する教会家族みなさん、一週間もお変わりないでしょうか。季節の変わり目、日中気温の寒暖差が激しい最近です。引き続きキリストの平安のうちにみなさんの健勝をお祈り申し上げます！先週教会設立20周年を迎え、素晴らしい感謝賛美礼拝として捧げられました！20年間の歩みを振り返り、あおひら牧場・江南各牧場・ひかり牧場・美ら牧場・三重牧場(ドイツからの川副牧者参加)の家族が感謝の証しと共に賛美を捧げて下さる姿に本当に感動的で感謝した！アメリカのエル・ドリーム教会ベック先生のメッセージを通して、開拓したばかりの教会だったのに、昨年日本宣教の為捧げて下さった尊い献金と愛に日本に向けられる深い神の愛を感じ感謝でした！礼拝後、行った愛餐会の為に、弥生姉は手の火傷までしながらも唐揚げを準備するなど、今回多くの姉妹の方々が前日から当日朝早くも来られ、約90個のとっても美味しくて素晴らしい手作りのお弁当を用意して下さいましたご労に心から感謝致します！川副家のお母様である洋子姉妹の20周年特別記念聖書ケーキも、またマリン姉妹のお祝いケーキも感動でした！愛餐会后、宣教バザー会が行われ、教会家族の献品や韓国クンビツ教会と恩港教会から多くの献品も届き、盛り上がるバザー会でした！収入も目標5万円を超え、5つ牧場の支援先の牧師家庭や教会に送金し、神の愛を分かち合うことが出来感謝でした！すべて感謝致します！

みなさんは、アメリカの中で、家賃が一番高い都市はどこなのかご存じでしょうか。ニューヨークでした。特にニューヨークの中でも一番高いところが、マンハッタンだそうです。(昨年の基準で見れば、全国家賃レポートによると、全米の平均家賃は役58万円(4,000ドル)を超えます。2位がボストン約45万4000円(3,060ドル)、3位はサンフランシスコ(3,020ドル)順ですが、ですニューヨークの中でも、マンハッタンの家賃は一月あたり平均4,210ドル(約46.9万円)で、全米で一番高いようです。)

特にニューヨークの中でも、世界で高層ビルが多い代表的なところとして、ニューヨークのマンハッタンはもっとも知られている有名なところでしょう。ラジオ・シティビルをはじめ、クライスラービルやテロを受けていてワールドトレードセンターやエンパイア・ステートビルなどの超高層ビルがここに群がっています。

マンハッタンは一つの島で、小さな地域なのに、どうして、このような巨大な高層ビルが多く立てあげられていると思いますか。一番の大切な理由はその地盤(じばん)には巨大な岩石(がんせき)であり、その上に作られた地層(ちそう)だからであることはよく知られている事実です。もっとも丈夫な建物を、それに高く建てようとするほど、実は、人の目には見えませんが、その地盤、基盤となる土台がどうであるかそれが、どれほど大切なのか分かりません。

今日の本文は有名な山上の教えの結論のところです。そういうわけで本文の始めで**24節**を見ますと、“だから”で始まっています。これは結論の意味です。つまり、その結論というのは、イエス様は弟子たちに真の弟子になるため、これからも揺るがない人生の家を建てて行くために、今も生きておられる神の恵みと祝福にあずかり、どうすれば幸いな人生を歩むことが出来るのかについてその結論を教えて下さっています。

結局のところ、人によく見えないところかも知れませんが、その勝敗は、何よりも一人一人の人生を支えている人生の地盤とその土台にかかっています、その人生の基盤、その土台がもっとも大切であることをイエス様は強調して教えて下さったのです。

イエス様は今日の本文の御言葉をとおして、揺るがない人生の家を建てるために、その基盤と土台の大切さについて強調するために、二人が建てた家のたとえ話をされています。一つの家は砂の上に建てられ、もう一つは岩の上に建てられた例えで分かりやすく教えて下さっています。砂の上に家を建てた人をイエス様は愚かな人だと言われ、岩の上に家を建てた人を賢い人だと言われました。

<1. 砂の上の家と岩の上の家の共通点>

砂の上に家を建てた人も、岩の上に建てた人も、みんな共通家を建てる必要を認識していたことです。

家というのは人にとって、あったら良いし、なければ別にいらぬ贅沢な物ではなく生きるための必需品です。広い家か、狭い家か関係なく、人が生きるために、家族が日々生活をしていくためには必ず、なければならぬものです。

イエス様は例外なく、全ての人は、自分に与えられている人生という家を建てていくプロセスを歩んでいることを教えて下さっています。

そして、もう一つの砂の上に家を建てる人も、岩の上に家を建てた人も、それぞれ家が建てられて、ついに完成されます。

イエス様は二つの種類の人がいることを今日の本文では教えて下さっています。賢い人と愚かな人が完成した二つの家は表では家の形やスタイルも、外形的にはあんまり差がなかったように推測ができます。外見の家の広さや見えるデザインもそんなに変わりなく、似たかも知れません。このようにざっと見ると愚かな人が建てた人生の家も、賢い人が建てた人生の家も両方とも表ではあんまり変わりなく、似たように見えます。

むしろ、ある面では、今日には、砂の上に建てた人がもっと早く家を建てるので、もっと有能で、能力のある人かのように認め

られるかも知れません！

岩の上に基礎を整って、家を建てた人よりも、砂の上に家を建てたものはかなり時間を節約し、ささっと家を建てていたのもっと短い時間に、たやすく家を建てたわけですから、その分かかったコストも安く、人手も少なくかかり、むしろ、家の外見の方にもっと余裕を持って見える家のデザインなどに力を注ぎ、建てられたかも知れません。

今日のスピードの時代は、過程(プロセス)よりも、速めに、すぐ見える成果や結果を出すことが重要する傾向があります。人の心よりも、うわべで、見えるところで、その人のすべてをすぐ評価しようとする傾向があるでしょう。うわべの姿だけで、信仰というものも判断してしまいがちです。

今日の本文にはイエス様はその面について指摘してくださっているのです。愚かな人と賢い人、この二人の家は外見上にはあまり差もないように見えました。

しかし、いくら、表では似て、外見上では同じ形を建てられている同じ人生の家のように見えても、イエス様ははっきりと見分け、よく見極めて下さっています。今日の御言葉によって、人は愚かな人が建てた家も、賢い人が建てた家も、表ではわからなかったことを覚える必要があるでしょう。

人はだれでも自分の家を美しく建てようとします。そして、それぞれ自分なりに人生の家を建てて行っています。

しかし、すべての人生の家のうわべではみんな似てるように、いくら同じように見えても、神様の御前では決してそうではないことを忘れてはいけません。神様は我らの本心、本音を、心の中心の全てを見ておられ、知っておられます！

主は全てをご存じであります！今、自分の人生の家を神の御言葉の設計図通り、建てて行っているのかどうかを大事に見ておられます。そうすることにより、どんな嵐があり、洪水が襲っても、倒れず、美しく丈夫な人生の家を建てるのが雄一出来るからです。自分勝手ではなく、かならず設計図通りが大切です。

＜2. 賢い人と愚かな人が建てた二つの家の違い＞

それでは、いったい違うところは何でしたか。もっと本質的なことなのです。イエス様は結局今日の本文のたとえ話の話を通してその違いを強調し、教えて下さろうとされたことが分かります。

始め、イエス様はこの二つの家を建てる過程にかかった努力の違いがあったことが分かります。

砂の上に建てられた家は岩の上に建てられた家と比べると、全然楽にそれとも早く建てられたと思います。

しかし、岩の上に建てて置いたその家は基礎を整っていくための工事でどれほどの苦労と、時間がかかって努力したのでしょうか。きつと砂の上の家よりは、とても時間がかかって建てられていたはずでしょう。

おそらく、岩の上に建てようとしていたその家の基礎を建てるうちに砂の上に建てる家の人はすでに家の形をほとんど建てて、完成をすぐ目前にしていたかも知れません。そうしながら、必死に岩の上に家を建てようと努力している人たちの姿を見て、あざ笑いながら、かえって“お前たちはね、本当に愚かな者じゃないか。非効率的じゃないのかよ！”とさげすんだかも知れません。こんな忙しい時代、スピードの時代にいつまで基礎ばかりに建てようとしてそんな長く、貴重な時間費やすつもりかとまるで自分たちが賢くて、岩の上に家を立とうとする人たちはまさに愚かなアホみたいに扱われるかも知れません。

今日の本文には岩の上に建てられた家にかかったエネルギーについての描写(びょうしゃ)はありません。しかし、今日の同じ御言葉の内容が書かれているルカの福音書を読んで見ると、今日の本文の表現とはちょっと違って書かれていることが分かります。

「その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。」(ルカの福音書6章48節)

ルカの福音書ではただ岩の上に建てていく中何が強調されていますか。

“地面を深く掘り下げ、しっかり岩の上に土台を据えた”と強調されているでしょう。

愛するクリスチャンブレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！信仰の真の基礎、揺るがない信仰の土台を丈夫に建てて行く事！聖書の御言葉通り本気で信じ、従って生きる事(毎週何があっても礼拝しようと、自分で頑張っても出来ないのに、なんで祈るか、聖書の御言葉通り生きるより、Googleで検索して生きた方時間節約し、ましであり、聖書通り生きようとするのは、古い考え方、ちょっと宗教にはまった人たちの愚かな生き方だとよく言われそうではありませんか。

世の人々から見ると、むしろ、岩の上に家を建てて行こうとする人々が、無駄なことであり、愚かに見えます。

しかし、みなさん、本当にそうでしょうか。結局その差は通常の時は、あんまりその違いもないように見えたかも知れませんが、必ず、その違さが明らかにされる時が来ることを聖書にははっきり教えて下さっています。

みなさんは、東京の帝国ホテルについて話したことがあると思いますが、今は東京のインペリアルホテルの全身でありながら、感謝なのは故小牧の近くの明治村に行かれますと、明治時代のそのホテルの実際の中央玄関部が近くいつも展示されるいます。このホテルは 20世紀建築界の巨匠、アメリカの建築家フランク・ロイド・ライト(Frank Lloyd Wright)によって設計され、4年間の大工事後に完成されたのが東京の帝国ホテルでした。ところが、このホテルを建てた4年間うち、実はこのホテルの基礎工事をするのに、ほぼ2年間かかったそうです。それで、当時は、回りからいろんな非難の対象になっていました。どうして、

あんなに多くの時間やお金を投資し基礎工事するだけで費やすのかと、建築家フランクに任せたのは愚かで、大失敗みたい
に扱われたそうです。

結局、まる2年基礎工事、残り2年で他のすべてを建てあげてこのホテルは1923年完成されました。完成されてからしばらく、
この帝国ホテルは無駄なお金が多くかかって建てられた体表的なケースの建物に見なされたそうです。ところが、このホテル
が建てられてから年に関東大地震が起きました。周辺の多くの建物が破壊されたり、火災に見舞われる中で、小規模な損傷
はあったもののほとんど無傷で変わらぬ姿を見せていたのがこの帝国ホテルでした。その後、人々は代わり世間に注目され、
ライトという名前も日本建築界には神話のように伝わるようになったのです。時間がかかっても、いくら努力しても、この基礎が
どれほど大事であるか、どれほどしっかりしなければならぬのか、帝国ホテルは私たちによく証明してくれています。

二つ目の賢い人の家と愚かな人の家の一番の大きな違は、人生の試練にも耐え、揺るがず、乗り切るかどうかのことでした。

(御言葉の土台、地盤があるかどうか)

本文25節を読んで見ると、ある日洪水が押し寄せて来ます。そして、突風のような強い風がその家に打ちつけます。
ついに二つの家はめっきり違差が表されます。砂の上に建てられた家はすぐ揺らぎやすく、倒れが激しくなってしまいます。
しかし、岩の上に建てられた家は、揺らぐことなく、よく耐え、守られ、その時を十分に乗り切っていました。

ここで大雨、洪水、嵐は何を念頭にしてイエス様がおっしゃったと思いますか。 そうです！それは 人生の中で、いくらでも起こ
りうる思わぬ試練であり、激しく襲ってくる様々な苦難や戦いのことなのです。

我らの信仰というものが、本当に聖書中心とした信仰であるか、自分勝てな信仰の形だけなのか、本物の信仰のか、形だけ
の信仰なのか、このような人生の試練にあった時、明らかにされると言われています。

我らも思わぬ困難の中で、我らの人生の家を、大切なものを奪おうと襲って来て時があります。

ここでみなさん、我らが忘れてはいけない大切なポイントがもう一つあります！それは、砂の上の愚かな人生の家に、岩の上
に賢い人生の家にも、嵐は、両方にも襲って来るということです。人生の中で、キリストを信じる人であっても、信仰を持ってな
い人々であっても、この世の人生の生きているうちには、思わぬ試練や苦難に、混乱に巻き込まれ、襲われる時は何度もある
かも知れません。ですから、そのような苦しみの中や、失敗の中にいる人々に対して、むやみに、勝てに信仰が足りないとか、
祈りが足りないからだとか、絶対判断しないで下さい。しっかり信仰を持っているのに、人生の中で様々な試練にあうことを珍
しく、不思議に思わないで下さい。

みなさんが神と神の御言葉にしっかり根付いているならば、必ず、主が皆さんを守り、耐えらせ、ついに乗り越えらせて下さっ
て益となるようにして下さいの残りの今年中に続けて体験して行きましょう。

今、みなさんの信仰の基礎は本当に丈夫ですか。御言葉の岩に深く掘り下げているのかどうか点検する必要があります。

もう激しく揺らいでいる方々はいませんか。もう一度今まで自分の信仰の基礎を点検し、大事にしましょう。

まだ全然遅くありません。みなさんの人生の家が揺るがず、信仰の動揺もせず、堅固であって、さらに美しく賢く
人生の家を建てて行く建築家たち、クリスチャンプレイズチャーチの全の神の家族となりますようにイエスキリス
トの御名によって祝福します！

「わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人だ。」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの家族のみなさん！ そうです。砂の上に建てた人の家と岩の上に建てた家の根本的な差
といえば、それは基礎、地盤、その土台の差でありました。だから、この基礎ってどれほど人生の中で大切ですか。時間がか
かっても、変わらない神の人生設計図である聖書の御言葉の基礎と土台を深く、しっかり根付かせ主に祝福される賢い人生
の建築家たちとなりますようにお祈り申し上げます！アーメン！

<3. その岩なる土台と揺るがないように岩の上に人生の家を建てること>

(人生の設計図である神の御言葉なる聖書とその御言葉通り行う事)

みなさん、早速、結論的に、今日一番大切な質問はこれです。そしたら、巨大な岩の上建てられ、揺るがない、倒れない賢い
人生の家を建てるために、その岩なる地盤、基礎、土台とはいったい何でしょうか。

24節を共に読んで見ましょう。

「だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができま
す。」 *岩なる土台とは、神の御言葉であります！さらに、その岩なる土台の上に家を建てることに関して、イエス様が強調さ
れたのは、岩の上に家を建てることですが、この箇所でも強調されている動詞二つは、イエス様の御言葉を「聞いてそれを行な
う」ということです。そして、この二つの単語の中でもっと強調されていることが御言葉を聞いて御言葉通り行なうこと、御言葉通
りに実践する、生きることなのです。いくら神様が我らの人生を愛され、完全なる神の御言葉、つまり、我らの人生を救い、変え、
回復させ、幸いな人生に導く人生の設計図を与えて下さっても、それを聞き流し、神からの人生の設計図通りに徹底的に従わ
なければ、岩の上にしっかり建てられて人生の家を建てる状態ではない事を教えて下さっています。

*ヤコブの手紙1:22、25節「みことばを行う(実行する)人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となっ
てはいけません。25すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。」

聖書の御言葉をいくらたくさん聞いても、例え、個人的に、神学校や教会でいくらたくさん読んだり、学んだりしても、自分の人生や生活、自分と自分の人生が変わってない理由、神を信じ、キリストを信じると言いながらも、すぐ思わぬ試練にあうと、神の信じてない者たちとの反応と姿勢、生き方がすぐ恐れ、すぐ不安になり、人生の揺れが激しく、すぐ倒れそうになっている理由になります。神の御言葉聖書通りに徹底的に従い、真剣に実践してないためであまり生きておられる神の力と助けを体験してないのだと教えて下さっているわけであります。

神様が我らに完成された神の御言葉、この聖書を与えて下さったのは、思わぬ人生の試練と苦難の中であっても、神の御言葉を通して、日々実際生きておられる神様との生きた交わりと御力を体験しつつ、神に祝福され、揺るがない美しい人生の家を正しく建てる事が出来るようにするためであります。

神の御言葉、聖書は、人生の家を素晴らしく建てていくために、神様から直接我らに与えられた人生の設計図だと信じます。だれでも、どんな人生であっても、この神様が与えて下さった設計図なる御言葉通り、徹底的に建てて行けば、必ず、救われ、回復され、守られ、恵まれ、さらに素晴らしく変わっていくように、導いて下さるものであります。

*テモテへの手紙第2章15-17節で「聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。聖書はすべて神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。神の人が、すべての良い働きのためにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。」

ですから、御言葉通り真剣に、優先に、大切に従い、生きる事が、まるで、家を建てる者が、設計図にしっかり従って、家を施工(しこう)するだと言えるでしょう。

*ヨハネの福音書14章21、23節「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です。わたしを愛している人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現します。23イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」

*申命記(Deuteronomy) 30章2-3節

「あなたの神、主に立ち返り、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、あなたの神、主は、あなたの繁栄を元におりにし、あなたをあわれむ。」

実際、神を愛し、神の御言葉を絶対的に信頼して、御言葉通りに徹底的に従っているうちに、聖書に約束されている神の祝福まで受けて歩んでいる人生の家もいます。ところが、頭では聖書が神の御言葉であることを知りながらも、まったく日々人生の家を建てていく中で実際生かせず、適当で、よく妥協しながら、信仰の形だけ取っている場合は、何かあったら、すぐ揺れやすく、激しく倒れやすくなると教えて下さっています。

*マタイの福音書7章21節「わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者が入るのです。」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

いくら素晴らしく完璧な設計図を手にいれ、あったとしても、家を建てようとする人がその設計図通り施工(しこう)せずに、その通りに家を建て上げていかなければまったく設計図がある意味がないことではないでしょうか。いくら高価な設計図を手に入れたとしても、家を建てる人が結局設計図をまったく無視して、自分勝手に、家を建てようすれば、すぐは問題がなさそうに見えても、後で大変な目におわれてしまうことになるのは当然な結果ではないでしょうか。不実工事や手抜き工事によって建物に酷い裂け目、ひび割れが出来たり、建物が偏ってしまったり、ついに倒れたりするさまざまな事故や被害が今日ニュースを通して時々起こっているのではないのでしょうか。

見えない、わずかなことのように見えるかも知れませんが、神の御言葉通りに徹底的に従って日々生きようとする事が、自分の人生の家を堅固に、丈夫に建てていける、真の巨大な岩のような人生の基礎と土台となると教えて下さっています。

【今日の祈り】

“主よ。今年もどんなときにもいつも御言葉と信仰の行いの岩の上にわたしをしっかりと建たせて下さい！今年も我が人生が、我が家庭が、われらの教会が、どんな様々な苦しみや試練の風が襲って来ても、揺るがず、守られ、忍ばれ、ついに乗り越えながら幸いな人生、家庭を築き上げていく事が出来ますように我らを助けて下さい。どんな試練があっても、イエスキリストの御言葉を信じ、神の知恵のある命の御言葉通り、徹底的に築き上げ、我らが望む以上の美しい人生の家を建てていく事が出来ますように助けて下さい。常に神様の前で、謙遜になり、自分勝てに人生の家を建てて行く愚かな人生ではなく、我らを変え、矯正させ、癒し、回復させ、神の救いと助けをもたらす神の御言葉通りに建てて行く賢い人生の建築家となりように導いてください！日々主と共に歩み、神の御言葉の巨大な岩の上に建てられ、人生の最後まで美しい人生の家を建てて生ける賢い人生の建築家たちとなる全クリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族となりますように、祝福し、強めて下さい。愛する主イエスキリストの御名によってお祈り致します。アーメン！